

令和2年度上期胆振管内観光入込客数の状況について

令和3年2月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和2年度上期の観光入込客数は5,038千人で、前年同期（10,270千人）と比べ5,232千人の減少（前年同期比49.1%）となりました。

入込客数は、平成24年度以降堅調に伸びていました（胆振東部地震発災の平成30年度を除く）が、新型コロナウイルス感染症の影響により、統計が新方式になった平成22年度以降で最少となりました。

月別に見ると、5月は前年同月比21.1%で減少幅が最も大きくなりました。緊急事態宣言を受け、帰省や旅行の自粛、施設の休館、イベントの中止などが影響しました。

5月下旬に緊急事態宣言が全面解除されてからは、施設の再開、市町、道「どうみん割」（7/1～）、国「GO TO トラベル」（7/22～）などの観光支援事業、白老町に開業した民族共生象徴空間ウポポイ（7/12～）の波及効果などにより人出は徐々に増え、7月は前年同月比57.5%まで回復しました。

8月は、例年同様に、上期の中で入込客数が最も多くなった一方で、都市圏の感染が再拡大したことにより、国の「GO TO トラベル」キャンペーンで東京発着の旅行が除外になったこと、お盆期間中の帰省や旅行の手控え、学校の臨時休校の影響による夏休みの短縮などの影響もあり、前年同月比62.3%となりました。

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は1,052千人（構成比20.9%）で前年から2,577千人の減少（前年同期比29.0%）、道内観光客は3,986千人（構成比79.1%）で前年から2,654千人の減少（前年同期比60.0%）となりました。

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は4,424千人（構成比87.8%）で前年から4,361千人の減少（前年同期比50.4%）、宿泊客数は613千人（構成比12.2%）で前年から871千人の減少（前年同期比41.3%）となりました。

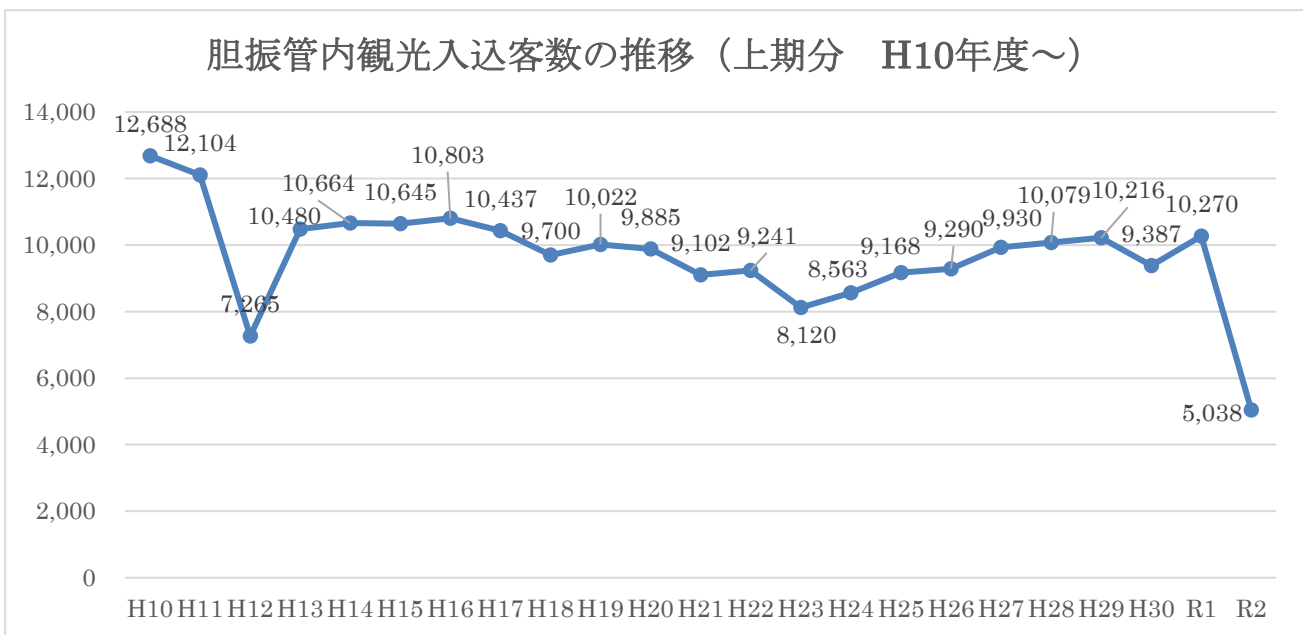
宿泊客延べ数は711千人泊で、前年から901千人泊の減少（前年同期比44.1%）となりました。

【参考 1】令和 2 年度上期胆振管内観光入込客数内訳 (単位：千人、千人泊、%)

区 分		令和 2 年度上期観光入込客数		前年同期比	前年度上期からの増減数
			構成比		
道外・道内別	道外客	1,052.0	20.9%	29.0%	▲2,577.7
	道内客	3,986.3	79.1%	60.0%	▲2,654.8
日帰り・宿泊別	日帰り客	4,424.6	87.8%	50.4%	▲4,361.3
	宿泊客	613.7	12.2%	41.3%	▲871.2
入込総数 (千人)		5,038.3	100.0%	49.1%	▲5,232.5
宿泊客延べ数 (千人泊)		711.7	—	44.1%	▲901.1

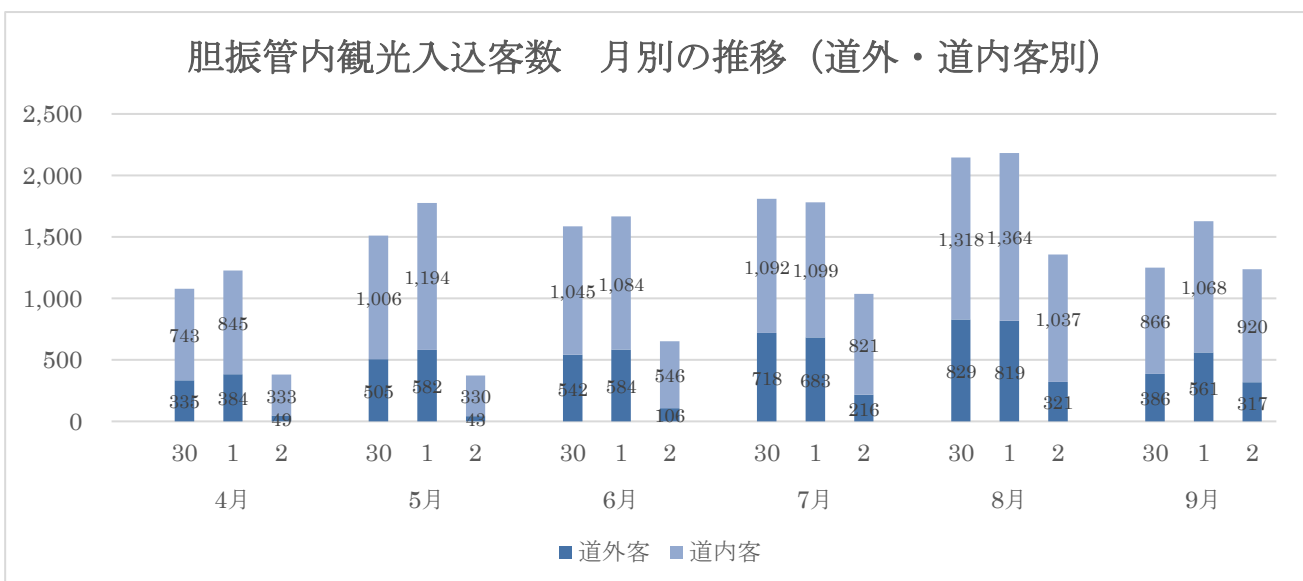
【参考 2】胆振管内観光入込客数の推移 (上期分 H10 年度～)

(単位：千人)



【参考 3-1】胆振管内観光入込客数 月別の推移 (道外・道内客別)

(単位：千人)



【参考 3-2】胆振管内観光入込客数 月別の推移（日帰り客・宿泊客別）

（単位：千人）

